

四旬節(レント)第5週 主日礼拝

2020年3月29日 第一礼拝(午前8:00~) 第二礼拝(午前10:30~) 夕拝(午後7:30~)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『ヨハネの福音書』15章5節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌22「御神の愛をば」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
聖書朗読	『ヨハネの福音書』13章18-30節(新約208頁)	司会者	
黙想	(黙想5分間、窓を開放して換気を行います)	—	同
説教	「太陽がまだ昇らぬうちに」	近伸之牧師	
黙想	(黙想5分間、窓を開放して換気を行います)	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	笹川清子姉	
諸報告	(来会者紹介など)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌60「天地ごぞりて」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります)

第一礼拝	司会: 近伸之牧師 説教	音響: 片山勝三兄 献金: 沼田佐代子姉	
司集	会: 片山健司兄 会: 渡邊智子姉 (小林洋子姉)	映像・音響: 片山浩司兄 説教の録画: 近伸之牧師	C S 担当: 片山初子姉 ※掃除当番は右表参照

メッセージガイド

1. イエスは、弟子の裏切りを示しつつも、ユダの名前を決して出さず、むしろユダに対して、格別に愛された。
2. 陽の光は、凍土を溶かしもすれば、粘土を硬くもする。みことばを軽んじ、決断を保留し続けるなら、どれだけ福音を聞いても心は頑なになり、救いであるはずの福音そのものが、その人を滅びに定めるものとなる。
3. 人生の中で、一つの決断さえ間違えなければ、あとは何を選ぶと取り返しがつかないということはない。その唯一の決断とは、キリストを信じるか否か。保留は拒絶と変わらない。また選ばないという選択肢はない。

今週の暗唱聖句

まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしの遣わす者を受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。
わたしを受け入れる者は、わたしを遣わした方を受け入れるのです。 (『ヨハネの福音書』13章20節)

個人、団体からの来信

2020年3月29日

新潟聖書学園後援会より、学園バザー中止のお知らせ/
「さわやか通信」第36号の寄付金欄に当教会も掲載されました。

先週の集会出席者数

3/22(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性1 幼児女子1 小学女子3 中学女子- 高校女子- 女児計4 成人女性1		
	第一礼拝	男3 女3	※月に一回、書道教室を開催	
	歓迎礼拝(子ども)	男11 女16 男児2 女児5	3/23(月) 月曜家庭集会 (休会) 3/25(水) 救禱集会 男3 女7	
	夕拝	男3 女3	3/27(金) シャベリ場夕ビタ 男- 女4 3/27(金) 金曜祈禱会 男- 女4	

諸集会のご案内

	※月に一回、書道教室を開催		
月曜家庭集会	3/30(月)	(休会)	
バルナバ祈禱会	4/1(水) 19:30	新聖歌1, 201, 401 詩篇34	司会: 渡邊智子姉
シャベリ場夕ビタ	※4月中は休会とします。		
金曜祈禱会	4/3(金)	教会堂	問合せ先: 小山千春姉

4/5(日) 四旬節第6週(受難節)

第一礼拝 午前8:00	司会: 近伸之牧師 説教	音響: 片山勝三兄 献金: 沼田佐代子姉	聖餐準備: 笹川清子姉 配餐: 片山健司兄
教会学校 午前9:00	担当: 佐藤繁実兄	聖書箇所 ヨハネ19:17~30, 38~42	暗唱聖句 第一テモテ1:15
聖餐礼拝 午前10:30	司会: 近伸之牧師 集会: 小林洋子姉 (小山千春姉)	映像・音響: 片山浩司兄 聖餐時配餐: 笹川清子姉 説教の録画: 近伸之牧師	感謝祈禱: 佐藤鈴子姉 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	3/29[片山姉] 4/5[佐藤兄] 4/12[近牧師] 4/19[佐藤兄] 4/26[片山姉]		
掃除当番順	3/29[有志] 4/5[猪爪姉] 4/12[敬子姉] 4/19[初子姉] 4/26[麻美姉]		
主日の予定	新聖歌: 46, 108, 303 聖餐式実施については役員にて検討。 CS教師会および定例役員会については担当各位にて調整		
夕拝 午後7:30	3/29 [夕拝] 『コリント人への手紙 第一』 10:1-13 4/5 [第一・聖餐] 『ヨハネの福音書』 19:17-30		

報告

1. 礼拝の感謝
主日礼拝を持つことができ感謝します。新型コロナウイルス感染予防対策として、礼拝時間の短縮を図るため、礼拝式次第の一部を省略・変更しました。ひとり一人に主の祝福と守りがありますように。
2. 教団からの連絡
同盟教団理事会より「新型コロナウイルス感染への教会の対処のために」、また教団理事会および社会局長より「新型コロナウイルス感染症に対する教会の冷静な対応について」(追記改訂版)が届いています。掲示物をご覧ください。
- 3.

日本人は昔から「出会い」を大切にしてきたと言われます。例えば、茶道の真髓を説明する言葉に「一期一会」があります。これは人生で一度限りの出会いを表現するものとしてよく知られています。ある方が「人生は出会いで決まる」と言いましたが、まさにさまざまな出会いが私たちの人生の方向を決定するとも言えるであります。その「出会い」についてですが、ここには二つの態度があるようです。

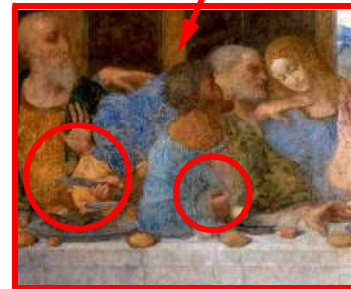
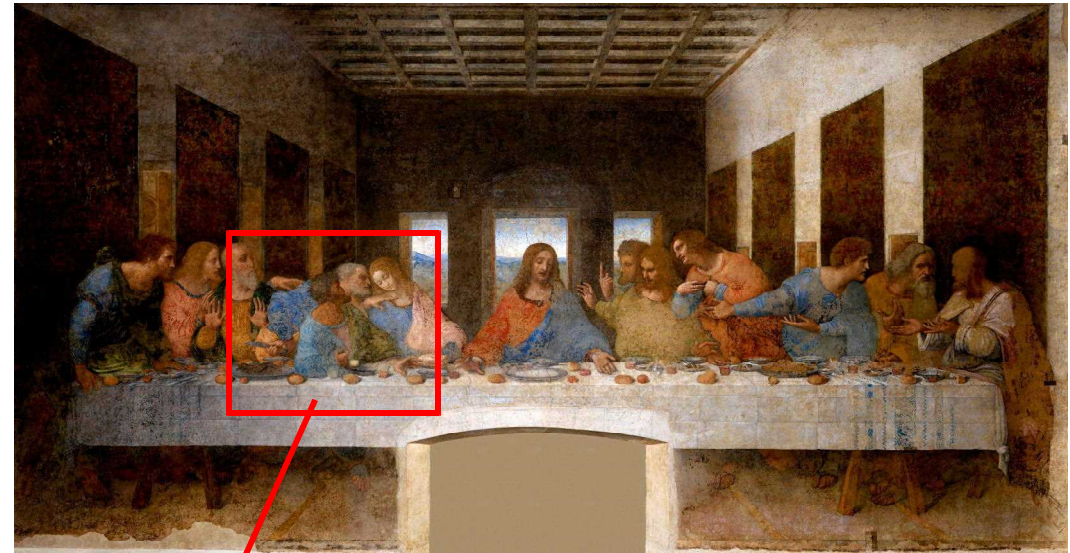
ひとつは出会いを単に偶然と受け取るもの、人生での出会いをすべて偶然、たまたまというニュアンスで受け取る生き方です。ですから、人生で最も神秘的とさえ思える結婚すら、男と女が偶然に結びついたと考え、結果的に離婚も手軽にしてしまいます。

もうひとつの生き方、それは「出会い」を神の導きとして受け取る生き方です。偶然としか見えない出来事の中にも、背後には神の導きがあると信じ、受け取るのです。人生で経験するさまざまな出会い、それによって神が何を語っておられるのかを聞き取るとき、意味のある、神のご計画に基づく豊かな人生を発見することになるはずで

そのためにはまず、私たちが存在させていただいたお方、生ける真の神との出会いが必要です。聖書の中に、「二人もし相会せずばいかで共に歩かんや」(旧約聖書『アモス書』3章3節)という文語訳の言葉がありますが、私たちがもし、神と共なる幸せな歩みをしたいと願うならば、その神とまず出会うことなしには始まりません。

では、どのようにしたら、この神とお会いできるのでしょうか。神の啓示の書である聖書を読むことです。ここから神の語りかけを聞くことができます。そうしますと、仲人ではありませんが、神のみ子イエス・キリストが生ける真の神と出会う道を備えていてくださることがおわかりになるはずで

す。ですから、「私たちは、このキリストによって、
 ・父のみもとに近づくことができます」
 (新約聖書『エペソ人への手紙』2章18節)



レオナルド・ダ・ヴィンチ『最後の晩餐』(1498)

当教会にも複製画があるが、オリジナルは伊ミラノにある修道院の食堂に描かれた、縦4.2m×横9.1mの壁画である。修復の際、中央のイエスのこめかみ部分に釘の跡が発見された。そこを中心として、遠近法(一点透視図法)を用いて制作されたと推測される。またユダは銀貨が入った袋を握り、ペテロの手は短剣をつかんでいるなど、随所に仕掛けられたギミック(遊び心)は、ダ・ヴィンチが聖書を読み込んでいたことがうかがわれる。

2020年度教会目標 **「主にとどまり、みことばがとどまる群」**

「あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます」(ヨハネ15:7)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
 ☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



4/4(土)イスラエルシリーズ
「イエス・キリストの生涯をたどる旅」

シリーズでお届けしている「イエス・キリストの生涯をたどる旅」。このシリーズでは、福音歌手の森祐理さんが聖書の記述をたどりながら、イエス・キリストが実際に生まれ育ち、活動したイスラエルの町々を訪ねます。今回は、イエス・キリストの宣教活動と教えにスポットを当てて紹介します。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15
 TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155
 ホームページ: <http://toyosakakyokai.net>
 電子メール: toyosaka@yellow.plala.or.jp
 ブログ: <http://toyosakakyokai.sblo.jp>

